

4月より清田区長に着任しました新谷です。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任以来、各地区的様々な取組みを拝見しましたが、皆様がそれぞれの地域に愛着と誇りを持って地域活動に取り組まれていると実感しました。

平岡地区におかれましては、地域独自の防災訓練や、宿泊を伴った冬の地震避難訓練といった地域の防災力向上に向けた活動及び福祉活動など、地域の皆さんのが一丸となつて、様々なまちづくり活動にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さらに、今年度、札幌市が新たに行う事業では、全市三地区の中のひとつに平岡地区をモデル地区として

4月より清田区長に着任しました新谷です。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任以来、各地区的様々な取組みを拝見しましたが、皆様がそれぞれの地域に愛着と誇りを持って地域活動に取り組まれていると実感しました。

平岡地区におかれましては、地域独自の防災訓練や、宿泊を伴った冬の地震避難訓練といった地域の防災力向上に向けた活動及び福祉活動など、地域の皆さんのが一丸となつて、様々なまちづくり活動にご尽力いた

おり、少し前までは原野を切り拓いて造成した田畠や果樹園が広がっていたことがあります。今では、その姿を想像することすら難しくない、整然たる街並みが形成されていますが、はるか遠くに手稲山や恵庭岳などを一望できる風景に変わりはありません。この地区を歩いていると、こうして眺望の素晴らしさや通りを吹き抜ける一陣の風が、まさにここが「丘」であることを意識させてくれる心地よさを感じます。

清田区としましても、こまちづくり活動の成果を踏まえつつ、親しまれ、信頼される清田区役所を目指し、「みどり豊かで、地域のふれあいあふれ、誰もがやすらぎを感じるまちづくり」の実現に向けて取り組んでいます。

さて、ここ平岡地区は、区のシンボルの一つである「平岡梅林」を擁し、閑静で調和のとれた住宅街として発展を続けています。

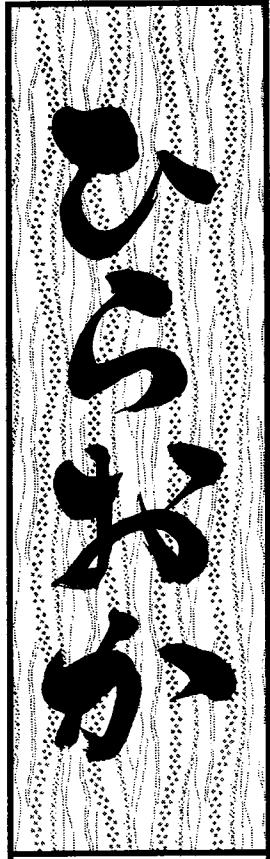
「平岡」という地名の由来となつてしているように、「坂の上」と呼ばれるほどの

選定させていただきました。地域における保健福祉活動の充実を目的に、地域の支え合い活動の強化と保健師の地域保健活動の充実を図り、福祉と保健の連携を目指して参りたいと思います。

清田区としましても、こまちづくり活動の成果を踏まえつつ、親しまれ、信頼される清田区役所を目指し、「みどり豊かで、地域のふれあいあふれ、誰もがやすらぎを感じるまちづくり」といった地域福

清田区区長 新谷光人

「着任あいさつ」



平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 松尾 隆
編集責任者 妹尾 裕司 渡辺綱太郎

「平原な小高い丘」となつております。少し前までは原野を切り拓いて造成した田畠や果樹園が広がっていたことがあります。今では、その姿を想像することすら難しくない、整然たる街並みが形成されていますが、はるか遠くに手稲山や恵庭岳などを一望できる風景に変わりはありません。この地区を歩いていると、こうして眺望の素晴らしさや通りを吹き抜ける一陣の風が、まさにここが「丘」であることを意識させてくれる心地よさを感じます。

清田区役所のご好意により、保健師が2名平岡に配置され活動されていますので、ご相談され、健康に留意して頂ければと思います。

4月20日の定期総会において会長に選任されました中川でございます。何分にも経験不足ですが、皆様のご指導ご支援を戴き、情熱をもつて誠心誠意、安心安全な街づくりに励ん参ります。



「就任にあたつて」

平岡地区連合町内会
会長 中川 昇

総会で提出された議案が全て承認され、以降、事業も計画通りに遂行させて頂いております事、感謝申上げます。

田区は、平成40年、高齢化率が40%となり、子供の数が3分の2に減少すると予測されています。

元気な高齢者が高齢者を支え、近隣の人が支える仕組みを作つて見守り、孤独感から少しでも解放してあげられる町内会でありたいものです。

平成5年4月、相互の親睦と地域福祉の増進を目的に平岡地区町内会連合会が創立され、今年度20周年を迎えております。この記念すべき年に清田区長に就任しました

平岡地区の地殻は月寒断層帯で、震度6の直下型地震が発生する危険が潜んでいます。年2回、中学校2校と防災訓練を実施しています。安全な避難場所（学校）へ逃げることをはじめ

ます。安全な避難場所（学校）へ逃げることをはじめ高齢者救出搬出、厳冬期の宿泊研修、避難場所運営訓練、AED心肺蘇生等も実施してきました。

平岡は静かでクリーンでかつ思いやりのある方が多く住みやすい街だと思っています。早朝からゴミを拾っている方が多くいます。街路の花壇清掃、ゴミステーション管理の環境美化、火災、防犯、パトロール等熱

して推進致します。

昨年から福祉のまち推進センターが各町内会、自治体、会長、役員の皆様と一緒に、より一層、安全安心なまちづくりを進めてまいりたいと考

えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

区のシンボルの一つである「平岡梅林」を擁し、閑静で調和のとれた住宅街として発展を続けています。

「平岡」という地名の由来となつているように、「坂の上」と呼ばれるほどの

ことを光栄に思うとともに、地域の皆様と一緒に、より一層、安全安心なまちづくりを進めてまいりたいと考

えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

平岡は静かでクリーンでかつ思いやりのある方が多く住みやすい街だと思っています。早朝からゴミを拾っている方が多くいます。街

路の花壇清掃、ゴミステー

ション管理の環境美化、火災、防犯、パトロール等熱

心に取り組んで頂いています。

「ゴミの無い、会話の多い賑やかな街には犯罪が少ない」と言われます。交通安全指導員による登下校指導、保護司民生委員の活動等安心安全な街に貢献して頂いております。

平岡地区町内会連合会は設立20周年を迎える事になりました。

平岡は明治32年入植、大正初期15戸となり、殆どが人馬での開墾で大変な苦労をされました。昭和9年25戸で農事実行組合が結成されました。以降大規模宅地造成化により各町内会の設立があり今は26町内会が成立と成りました。

平岡の発展のために情熱をもつて活動され基礎を築いて頂きました諸先輩に心から敬意と感謝申し上げます。同時に貴重な財産遺産を次世代に引き継いでいく責務があります。

ここに生まれて、育つて、住んで良かった平岡地区に住んでいきましょう。



平岡町内会連合会女性部の組織は、平岡25単町内会女性部が平岡町内会連合会女性部に集い、清田区の5町内会連合会女性部が「清田区女性部連絡協議会」に所属する仕組みとなっています。清田区5町内会女性部の大きな行事の一つに「一円玉募金運動」があり、清田区の町内会員の心のこもったご好意をいただいています。この運動は、豊平区時代から継承されて以来、清田区の社会福祉施設に贈呈すること35年となりました。

平岡町内会連合会女性部の主な活動は、地域住民の安心安全な生活を守ることを目的とし、子どもたちや高齢者と共に健康に生きるために活動と研修を深めています。また、地域の生活者や公



女性部長 山田睦子

平岡町内会連合会に所属する26町内会のうち、25町内会女性部が平岡町内会連合会女性部として、共に活動を開催しています。

町内会女性部の組織は、

平岡25単町内会女性部が平岡町内会連合会女性部に集い、清田区の5町内会連合会女性部が「清田区女性部連絡協議会」に所属する仕組みとなっています。清田区5町内会女性部の大きな

年間行事としては、総会、女性部長会議、視察研修会、教養講座、交通安全啓発活動、新入学小学一年生祝い、登下校指導、高齢者向け啓発活動、夏の防犯パトロール、防災訓練など幅広く、町内会活動に積極的にとりくんでいます。

女性部長会議では、清田区内及び平岡地区での各種会議の報告やとりくみの成果を論議し、各種行事の参加確認や所属町内会の交流など情報交換を行っています。視察研修や教養講座では、家庭生活の主たる内容である「食の安心安全」を中心とした3年間をすすめてきました。

2011年は、元上川農業試験場長菊地治巳さんのお米の話「ゆめぴりか誕生」と、南幌町の有機農業で米を作っている。子どもの頃に戻ったこの笑顔!!



2013年7月 土井農園「土壤調査」全員参加写真
南幌町の有機農業で米を作っている。子どもの頃に戻ったこの笑顔!!

2012年8月は、札幌市の市場とプラスチック処理場で生活のルールを学び、11月には、有機農業者メノビレツジ長沼の荒谷明子さんの「貯蔵・加工・わからかい」として、北国の自給自足生活の工夫を雪や太陽、薪や酵母を利用した実践を学び、酵母パンと自然食品の紅茶やコーヒーで交流を深め合いました。

2013年7月は、会長以下町役員の皆様にも同行いただき、メノビレツジ長沼のスキー場下に広がる菜の花畠と黄色の麦畠、手造りの建物と緑の木々を堪能し、美味しい有機野菜を抱え、



2013年7月 土井農園「土壤調査」
田んぼで生き物調査
田んぼの虫たちを探して!
田だ ゲンゴロウの幼虫 イトミミズ

8月は、「トマト摘みとトマト鍋講習会」として、当麻グリーンライフに出かけました。瀬川代表は、北海道有機農業研究会代表を務め、北海道の有機農業推進と有機農業をめざす新規就農の若者たちの指導と志の実現を支援しています。

事前学習として、有機農業の土づくりや微生物の働き、苗の植え方など家庭菜園での栽培技術を教わりました。有機農業生産者の農

午後からは、南幌町土井農園の「どじょうのいる田んぼ」を観察し、田んぼに住む虫たち「蛙、かげろうの幼虫、イトトンボのヤゴ、ゲンゴロウ、イトミミズなど」もちろんお目当ての「どじょう」も観察でき、蛙の手掘みなど、子どもの頃に戻り楽しい一日を過ごしました。

2013年8月 当麻グリーンライフ加工工場見学
トマトジュース うまい!! 甘酒 塩麹 ジャム2013年8月 当麻グリーンライフ
トマトハウスのトマト摘み
有機トマトは安心安全
食べながら摘み取ってま～す。

園では、農薬や化学肥料は使われていません。真つ赤に入り、シリアルージュやキャロル10などを味見をしながら摘み取りを楽しみました。その後、「トマト鍋」調理講習は、水やだしを使用せずに野菜や魚介類の味をいかした調理で、有機農産物の旨みと安心安全な食事を堪能し、帰路に着きました。

科学的に合成洗剤等などの使用があります。川や海、土地が汚染され、がん発生率が上がり、アトピーやアレルギー患者が増えているのも現実です。

また、竜巻や豪雨などの天候異変や温暖化現象など、私たちをとりまく環境の変化に対応できるようにすることも地域の大事な活動の一つです。

町内会女性部長の任期は一年交代が多いが、それぞれの町内会を代表し責務を全うすべく活動しています。そして、今年「平岡ふれあいまつり」へ向けて、全員参加で責務を担っています。町内会員、地域の子どもたち、高齢者のみなさんと共に住みやすい安心安全な平岡地区を目指す女性部活動のご支援をお願い致します。



出産祝い金制度

我が町内会では今まで毎年高齢者に敬老祝い品を贈呈していましたが、昨年度から赤ちゃんの誕生にも

何でしようか。

そこで思うのですが、地域全体の人口構成は高齢化していますが、決して若者が居ないわけではなく、それがなりに30代、40代の若者がまだまだ居るのでです。その若者に町内活動に関心をもたせ、時には役員になつて貰えるような体制を日頃から方向づけしてみては如何でしょうか。



初めての餅つき

そこで思うのですが、若い会員に町内会活動に興味を示して頂き、町内の行事に参加し、役員にもなつて貰うことです。わが町内会では年々行事や会合に若

私が役員を引き受けたからまだ5年足らずですが、町連の会合等で他の町内会の役員の方の大半が高齢で、雑談になるといつも口々にするのが役員の年齢です。若者に役員を引き受けた方がいいのですが、なり手が居なくこのままだと高齢化社会で先々が不安でならないこと。

そこで思うのですが、若い会員に町内会活動に興味を示して頂き、町内の行事に参加し、役員にもなつて貰つています。その「出産祝い金制度」の目的は、

お祝いをしようと思いつき「出産祝い金制度」を設けました。赤ちゃんが生まれたら班長を経由して町内会に申し出、祝い金を贈呈します。若いお父さんやお母さんに喜んで貰うことで、お隣どうしの間でこの制度の良さを分かち合つて、町内活動を理解し、目を向けて貰つています。

現状

の役員は定年を迎えた後、自営業で時間が自由に使えたりして町内会活動をこなせる役員が殆どです。一方若者は、昼間や休日以外の曜日には自由に時間が出来ないのが現状かと思われます。しかし、若者は携帯電話やパソコン、アイパッドなどの通信機器や事務処理の能力が優れており、町内会活動もそれらの能力を活用し、若者が町内会活動に参加出来る環境を整えることで若者が（町内会活動に）参加しやすくなるのではないのでしょうか。

今年の行事の事務処理を若い役員に依頼したところ素早く予想外に短時間で処理して頂きました。

一昨年までの役員は私を

各町の活動紹介シリーズNo.3 町内会役員の若返りを目指し!!



南平岡町内会

副会長 堀 井 年 勝

者の参加者が増えて活気を呈している次第です。

今年初めて正月に餅つきを行ったところ、若い会員やそのお子さんが率先して頂きました大盛況でした。

若いお母さん達から「子供クラブ」があつたらもっと楽しいのにと申し出がありました。また、その他行事にも若い会員が参加して頂き、高齢の役員としては心強く思っています。

含めて高齢化し、町内会活動もマンネリ化しがちだと思つていましたが、今若返りの方向で現在班長含め9名の若い役員が参入して活気ある元気な町内会に変わりつつあります。多少年数が掛つても5年、10年先には役員の若返りを期待できると思います。

また、町内会で「子供クラブ」を結成して役員の若がえりの源にしたいと思っています。

ここ2年程で我が町内会地域に新興住宅地が出来居住した若い世帯が86軒会員に加入しました。その敷地内に札幌市の公園整備が予定されています。子供たちが楽しめる場所が出来るよう準備され、若返りの環境が整いつつあります。

また、小学校の夏休みを利用してラジオ体操を行っていますが年々参加者が増え、子供に混じって若いお父さん、お母さんも元気にしていました。

一方、一昨年に東日本大震災で誰が亡くなったのか、何人の人が行方不明なのか遅々として分からぬ状況を教訓に、我が町内会として、住民の居住実態把握の

必要性を思いつき、地域在住の会員の「住民台帳」を作成しました。このような努力と若者が



平岡親和会町内会

会長 佐藤 二三夫

創立50周年を迎えて

歴史を受け継ぎ、新たなる飛躍を願つて！

創立50周年

昭和38年～平成25年

平岡親和会町内会は昭和38年6月頃、地域町内会として地域の住民要望により誕生し創立50周年の歴史を有する町内会です。

すでに平岡には農事実行組員の皆さんを中心とつて設立された平岡町内会があり、隣接町内としては金星団地町内（現平岡団地自治会）に次ぐ2番目に誕生したようです。

半世紀の歴史の事実を知る人、語る人も限られる中、町内有識者11名の皆さんにお集まりいただき、5月26日に50周年記念懐旧座談会を開催いたしました。この日の座談会では語れば尽きないほど多くの物語のお話をござり、歴史を知る人、貴

町内会活動に参加出来る環境整備が会の目的である安全で安心できる地域づくりに繋がると思つています。

重な経験、体験された現実を教えられ、後世に少しでも伝える事ができることを願い「半世紀のあゆみ」記念誌を発刊しました。

当町内設立時は20数軒からスタート。当時の会員は主に道路、電気、水等のインフラ整備拡充に翻弄されたようで、財政は貧困で、動力は全て各自任意の人的支援での共同作業、生活基盤を優先に地域整備に取り組んでいたようです。その後、歳の経過と共に社会的環境が整備され、札幌市の重点対策で東部開発が進み道路、電気、給水等地域環境の整備も地下鉄沿線の東西線延長でさらに加速、大谷地が開通、住宅急増、人口増加で急激な発展をみながら、今日250世帯へと町内会

が拡大充実されております。このような様々な変遷でも、すべてはかかる人々の交わりから始まり、基礎が築かれ、過去を知る多くの先人、諸先輩達が、若かりし青年期に、インフラ整備で翻弄された時代、水、道路整備、食料確保等に努力をされ、町内の発展の礎となつた御労苦に、敬意を表し感謝を申し上げます。

この度の創立50周年記念事業はご苦労の多かつた時代の先人、諸先輩達に敬意を表し、将来に向けて、更なる飛躍を願い計画をいたしました。

記念式典では、清田区で作成された「きよつち音頭」を披露の後、平岡中央中学校の吹奏樂演奏のオープニングでの開式、その中で皆さんと共に合唱した「ふるさと」は昔日の想いがよみがえり感動で満ちあふれ、いつまでも忘れられない出来事として胸に奥深く刻むことができました。

夏休みも返上で演奏いただいた、平岡中央中学校吹奏樂部の皆さんに改めて感謝と御礼を申し上げます。さらに祝賀会では、半世紀の歴史のあゆみをスライドで映写、当時の風景や活動



50周年懐旧懇親会

行事が写され、会場の皆さんのお一人おひとりが懐かしく見入られ、語られ、思い出のひと時を楽しんでおられました。



平岡中央中学校吹奏楽部の演奏



「きょっち」の出演

れた様相はいつまでも忘れず、後世に伝えられる出来事と信じております。

今後はこの記念事業をスターとして、事実を知り、現実をみつめ、未来にと言われるよう皆さんと協力

「住みよい」「明るい」「きれいな」街づくりをすすめていきたいと存じます。

「絆」を限りなく求め、希

薄になりつつある各人との「つながり」や人々とのか

かわりの「機会」と「出逢

いの場」多くをつくる。

昭和の初期は、道路や水道などインフラ整備中心の町内会活動でした。平成に入り、高度成長から安定成長になり、インフレからデフレへと景気も鈍化。年々少子高齢化が進み、町内の活動も会員交流、親睦を中心としたもの忘れるほど楽しいひと時でした。

この度の記念事業は素人集団で結成、手作りを合言葉に押し進めて参りました

が、結果は皆さんの衆知一

致が見事に花を満開に咲かせ、達成感、満足感にあふ

会場は厳粛なうちに終始

なごやかな雰囲気が漂い、

みなさんの昔話に弾みがつ

き、花が咲き、時がた

つのも忘れるほど楽しいひ

と時でした。

この度の記念事業は素人

集団で結成、手作りを合言

葉に押し進めて参りました

が、結果は皆さんの衆知一

致が見事に花を満開に咲かせ、達成感、満足感にあふ

れました。子供から壮年、熟年層まで幅広く多くの皆さんが参加、語り合える場を意識、各種の行事を計画しております。

年間行事として、

5月：花満開ミニウォーキング
6月：近隣探求 親子で体験
8月：防災炊き出し訓練(隔年開催)
9月：女性部「若・熟」交流会
10月：町内合同近郊日帰り温泉
1月：子供会お楽しみ会

心とした「つながり」を求めたり高めあう活動になりました。子供から壮年、熟年層まで幅広く多くの皆さんのが参加、語り合える場を意識、各種の行事を計画しております。

年間行事として、

(日) に親子体験「いちご摘み」と自然食で「レストランランチ」帰り道は道の駅での「ミニショッピング」をして愉しみました。

今年はそんな事が実現できればと願い、6月16日会ではつながりをつくる機会に今まで女性部と子供会とは別々に分かれて活動していましたが、広く地域全体が年齢を超えて、人とつながりを求めて、一つになつて活動する事にしました。

お年寄りも、子供も、若い人はお

い世帯も喜んで参加する行

事をつくることは大変苦労

があります。互恵の精神で

自分本位でなく相手を思う

事、昔からある日本の美し

い精神道徳を、若い人はお

女性部の活動について



平岡親和会町内会

葛原百合子

親睦行事は年間6回程

実施。「つながり」を高め

「絆」を深めることを期待

して開催しております。

今年度は「つながり」行

事の一つとして「親」と

「子ども達」が一緒に参加

できる親子体験日帰り旅行

企画、6月に開催しまし

着任の「挨拶」

平岡まちづくりセンター
所長川端健治

4月に平岡まちづくりセンターに着任しました川端

です。どうかよろしくお願

いいたします。着任して約

半年経過しました。平岡は

閑静な住宅街で、地域のま

ちづくり活動も活発な明る

く住みよい地域だと実感し

ております。

ところで、最近は少子高

齢化、人口減少ということ

が盛んに話題になっています。北海道内の市町村では、

こうした現象がしばらく前

から顕著に現れています。

札幌市でも、市郊外の大規模な住宅団地では、高齢化や人口減少の進行が一気に進み、空き家の増加が問題になつたり、小学校の統廃合が行われているような地域もあります。

平岡地区はそのような極端なことにはなつていませんが、今後、高齢化が相当進んでいくことは避けられないことです。

十数年ほど前、介護保険制度ができて間もないころ、地域福祉に関する仕事に携わっていたときに、ある大学教授にお話を伺う機会がありました。先生が「統計などからいろいろ予測をすることがあるが、人口の推計だけは外れることがない」とおっしゃっていたのが印象に残っています。自分も隣り近所もまだまだ元気だと思っていても、高齢化は確実に進んでしまいます。

今年、平岡地区は、福祉や地域保健活動を一層進めていくためのモデル地区に選ばれました。これに合わせて、平岡地区専任の保健師が2名配属されたほか、まちづくりセンター所長である私や区の活動推進

係長が、「地域見守り隊（地域支援チーム）となり、地域の皆様と一緒に、福祉や健康にかかる諸問題に取り組んでいくことになりました。

住みやすい平岡を継続していくよう皆様と一緒に、取り組んでまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

平岡カウボーイズ全国大会出場



監督 古谷 俊晃

(平岡コーポタウン町内会会長)

戻る7月25日、東京都江戸川区で開催された「I.B A - BOYS 第31回少年軟式野球全国ブロック大会」に出場してきました。

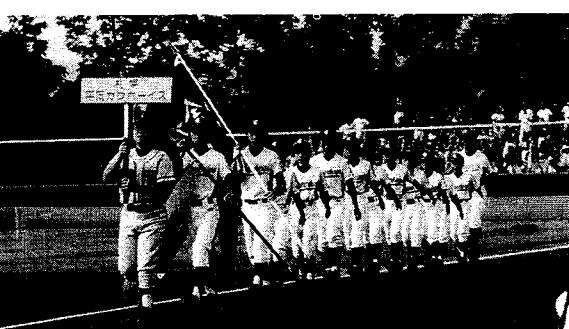
昨年9月函館市で開催された北海道予選大会に出場し、全道70チームの頂点に立つことが出来、今回の出場権を獲得しました。北海道1チーム、東北2チーム、関東2チーム、関西2チームの計7チームでの大会でした。

一試合目はオール大阪。



豪チームです。結果は3-2の1点差で見事勝利しました。二回戦は東京50チーム選抜チームです。我がチー

ムは初回ホームランのスタートでしたが残念ながら敗退しました。世界大会の出場は果たせませんでしたが、単独チームで互角に大阪、東京の選抜チームと戦うことが出来、各選手は満足したことだと思います。



いすれにしても、世界一流の選手が技を競う様子を一番近く、その雰囲気とともに見たり・聞いたり・感じたり・できるのは素晴らしいことである。これを機会に、社会におけるスポーツのあり方を「考える」最良の機会であることも忘れない欲しい。

平岡「町連」も、今年は20周年を迎えます。この間の、世の物質文明の発達とともに、地域社会の変わりようも著しかった。それは「より早く・より便利に…」と……。しかし、世の中はそれだけではない、人の世の「支え」を定める「人間の心の問題」がある。これを機会に考えてみたいものである。

よとやき